

会 議 録

1 会議名	平成24年度第6回南砺市井波地域審議会
2 議題	閑乗寺公園の地域振興策について
3 開催日時	平成25年3月11日（月）午前10時～11時45分
4 開催場所	南砺市役所井波庁舎 3階多目的ホール
5 会議出席者	〔井波地域審議会委員：出席者10名〕 島田勝由(会長) 西村一郎(副会長) 澤田武夫 中嶋正昌 柴田壽和 北修 窪田育夫 松田清 石黒和恵 藤井圭一 〔事務局：出席者5名〕 須川井波行政センター長他3名 川原都市計画課主幹 〔株式会社上智：出席者2名〕 遠藤聰 保坂啓二
6 傍聴者	1名
7 議事内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 <div style="margin-left: 40px;">会長挨拶</div> ・議題 <div style="margin-left: 40px;">閑乗寺の地域振興策について</div> ・資料説明（事務局） <div style="margin-left: 40px;">資料 閑乗寺高原「夢木香村」利用状況</div> <div style="margin-left: 40px;">資料 閑乗寺公園グラウンドのソフトボール場としての利用 <div style="margin-left: 40px;">について</div> </div> <p>会長 3月5日の地域審議会資料提出依頼をしたコテージの利用状況の説明を、行政センター長にお願いしたい。</p> <p>事務局 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">資料「閑乗寺高原「夢木香村」利用状況」の説明</div></p> <p>委員 延べの人数であっても、コテージやバーベキューで1人当たり1,000円としても600万円ほどの収入になる。テニスも無料ではない。ある程度の金額になると思う。砺波市とも話し合わなければならないが、井波で同じことをやっても競合出来るのではないか。毎年の設備投資は不要だと思う。初期投資はあるが、ランニングコストは高くないと思う。これは参考資料として大変ありがたい。</p> <p>事務局 庄川のコテージは1人当たり2,500円に固定費が1,000円かか</p>

る。仮に4人泊まれば11,000円。城端の桜ヶ池は固定費が9,000円に1人当たり800円。

委員

1人当たり2,500円で2,000人なら500万円になる。その他バーベキューをしたらもっと収入が上がる。

委員

利益は1,000円くらいだろう。コテージは稼働率が良いから井波に作ってもいいと思う。

会長

同じ場所に同じ物を建てるのは如何なものか。井波はオートキャンプが主流という形で維持、運営を考えてはどうか。

委員

しかし、1カ所にキャンプ場を集中させるということで、オートキャンプは閉鎖ということではなかったか。

事務局

ワーキンググループの話では、ログハウスのある所をオートキャンプ場にして、出入りは管理棟がある道を整備するという提案であった。

委員

オートキャンプは1台、値段はいくらか。

事務局

オートキャンプは1泊あたり2,000円。バーベキュー場は無料。

委員

庄川では「つくしんぼ」が管理しているのか。2,500円は砺波市の収入になるのか。

事務局

「つくしんぼ」が指定管理を受けている。

委員

指定管理とは、採算が合わない部分は市が補填するという方法。利益が出たら管理料は減るという仕組みだったと思う。庄川の場合、市の持ち出しは少ないのではないか。

事務局

芝生や草刈りは費用がかかると思う。指定管理料は電気代、布団や掃除など、そっくり含めてなので安くはないと思う。純利益はどうなっているかわからない。

会長

他に意見がなければ、グラウンドについて話し合いたい。

事務局

グラウンドの資料を配布します。

「閑乗寺公園グラウンドのソフトボール場としての利用について」説明

(榊上智)

ソフトボールに関しては、場所は確保出来る。

委員

公式グラウンドという認定基準はあるのか。

(榊上智)

詳細は調べていないが、地形的には OK。後は設備の問題。少なくともバックネットは必要になる。

事務局

外野のフェンスは必要。外野フェンスは卓球のネットのような簡略なネットもある。

委員

公式のグラウンドになるのだろうか。

事務局

公式にするにはバックネットは必要です。本当の公認とするなら、観客席、得点板を作ることとなり、ここでは無理だが、ボールが飛んで行かないようにネットフェンスは建てた方がよい。今の状況ではそこまでは無理だが、公認の基準の面積はある。

委員

後は、使う人が「ここで試合をする」と言うかどうかというところか。それとバックネット。

事務局

バックネットは、グラウンドが出来た時には移動式の物があったと思うが、今ではもう錆びていると思う。更新していればあると思う。問題は、水はけが悪くあまり使われていない状態が続いたということ。今回は水はけについて整備したいと思っている。

会長

ソフトボールの面積が確保出来るなら、多目的で、あれもこれも出来るということで良いのではないか。

委員

子どもの野球も出来るだろうか。

会長

そうですね。それならやはり水はけが良いように整備が必要だ。木彫刻キャンプの時、ひどく苦勞していたように思う。

事務局

あれから芝生を入れたので、木彫刻キャンプの時よりは砂地は安定している。一番最初に整備した時に暗渠は整備し、その後グラウンドの周りだけ芝生を入れた時にも、暗渠はやり直した。暗渠パイプが不十分なのか粘土質の土のせいなのか、思ったより水を吸ってくれない。採石の層を厚く入れて、水を吸わせるしか方法はないのかなと思う。パイプだけでは水を吸いきらないのかと思う。すぐ乾くグラウンドにはなかなかならない。2～3日晴れば乾いたグラウンドになると思う。管の出口から下水管を掃除するようなものでもつつこんだらよいのか、思案する所だ。芝生を一度めくると、また芝生をはめた時2～3カ月は使わずに表面を休めなければならない。暗渠については、安く出来る良い方法がないか探している。

会長

他に何かありますか。コテージの件についてはどうか。

委員

コテージは作った方がよい。たくさんの人が来てくれたら、人が人を呼ぶので、砺波市さんと話し合いながら作った方がよいと思う。

副会長

井波小学校と土庄との交流の場も作った方がよい。

事務局

今年はこちらの人数が少なかったので、児童は来なかった。ここ2～3年は利賀のそば祭りを見て、利賀に泊まってもらい、閑乗寺かイオックスでスキーをし、井波の観光をして、ホームステイ、次の日の朝、観光して帰るという日程。井波高校があった時は八乙女ホームに泊まり、その後スキーに行った時もあった。

委員

宿泊施設があってもよいのではないか。

副会長

まだ交流は続くのか。

事務局

続けなければと思っている。

会長

宿泊という話であれば、あれもこれもではなく20～30人が収容できる一戸建てのスタイルがよいのか、コテージがよいのか絞らなくてはいけないと思う。

	<p>委員 土庄の人数は少ない。今の話だと児童は5～6人ほどということだが。</p> <p>事務局 今年は少ないが、例年は20人ほど。</p> <p>委員 「つくしんぼ」の2階が泊まれるが、ほとんど利用されていない。コテージの方が利用しやすいと思う。20人来ても、分かれて泊まればよい。</p> <p>会長 ソフトボールのグラウンドが作られれば、夏に学校の合宿に利用出来る。</p> <p>委員 全員一緒に泊まらなくても、5～6人分かれてでもよいのではないか。</p> <p>委員 確認だが、ワーキンググループから出た案を井波地域審議会が認め、その上で今、我々は追加で議論しているのか。</p> <p>会長 追加として議論している。</p> <p>委員 ワーキンググループからの案を見ても、本業のスキー場はなくなっても、スキー場として使うことを考える必要はないか気になる。</p> <p>会長 スキー場を利用したい。</p> <p>委員 リフトはなくなるが、スキー場と圧雪車は残る。</p> <p>委員 ナイター設備はどうなるのか。</p> <p>会長 それは欲しい。スキー場を夜暗くしては駄目。ナイター設備は残しリフトだけ廃止ということで。</p> <p>委員 ナイターの照明はリフトの柱に付いているのか。</p> <p>事務局 ナイターは別建ち。常夜灯が3機建っている。柱に2個ついている。夏場に明るく出来るが、防犯的には不十分だ。</p> <p>委員 今のキャンプでは、夜暗くて子どもがトイレに怖くて行けない。夏場でも明るければ山が見え「ああ、営業しているのだな」と思う。やはり、</p>
--	---

何時までは明るいとなれば、遠くからも見え、人は来る。子どもは怖がってとても泊まれるものではない。利賀の施設には（明るいので）人が来ている。明るくしてほしい。夜の暗い公園に人は来ない。

委員

スキークラブという団体もあるから、参考として意見を聴くのも大切。一方的にスキー場、リフトをなくすというのはちょっといけない。

委員

スキークラブの人を呼んで、話を聴いた方がよいのではないか。

会長

リフトがあれば、スキークラブは積極的に活動するだろう。しかし今、市民が望んでいるのは、子どもが遊べるスキー場ではないか。

委員

スキークラブの助けが必要だから、意見を聴かなくてはいけない。

会長

スキークラブはスキー教室を開いてくれるが、井波（閑乗寺）を使わない。イオックスとかに行ってしまう。スキークラブに相談すると、リフトを残せと言われると思う。逆に聴くのは失礼だ。

委員

いや、スキークラブはリフトを失くすことはわかっている。ただ「どうか」と聴けばよいのではないか。

会長

だが、聴けばズラズラと結論が延びていくのではないか。

委員

いや、「協力する」「協力出来ないから解散」と考えるか、どちらにしても意見を聴かなくてはいけないと思う。

会長

私もスキークラブの人たちがどう考えているのか気になる。リフト付き、圧雪車付き、これはスキーをするための条件だと思う。

委員

行政からスキークラブに話をしていないのか。

事務局

していない。ワーキンググループの委員にもスキークラブの人は入っていない。

委員

スキークラブの人がワーキンググループに入っていないのなら、冬の意見は出なかったのか。

事務局

提出された意見書には、圧雪車は残してほしいとはあるが、深くつきつめての話はなかった。冬以外のシーズンについて話し合った。リフト廃止を前提に論議してもらった。一部、冬についても議論して、冬でもスキーが出来るよう圧雪車を持つ話も出た。

委員

圧雪車はスキークラブが動かしていたのか。

事務局

圧雪車は施設に付属する物。行政が所有して、指定管理者のイオックスが運転している。合併前は経済課の職員が運転していた。

委員

圧雪車はスキー場がなくなったら、イオックスは管理しなくなるのか。

事務局

公園管理ということで指定管理を受けた業者が管理することになる。圧雪車付きのソリが出来るグラウンドとしての公園なら、オールシーズンの運営になるし、コテージだけなら4～11月までだけの活用の施設になる。冬場も集客したいのなら圧雪車が必要。気軽に上がってきて、ソリ遊びしてもらえれば、という発想だと思う。

会長

5分間の休憩にします。

休 憩

会長

再開します。スキー場を再建することは不可能ということで、そこでどのように閑乗寺を復活させるかということ、ワーキンググループで話し合っていた。意見書にある展望ゾーンについて、例えばコテージの件は、私たちが具体的に要望を出してよいのか、漠然としたものでよいのか。欲しい物ははっきりと欲しいと言わなければならない。建物については迷う。

委員

管理棟は管理棟で作ってもらい、それプラスでコテージはあった方がよい。

会長

コテージは要望に出していけばどうか。

委員

コテージを要望の中に入れていけばどうか。いくつくらい設置できるのだろうか。

会長

コテージは3人でも10人でも利用出来る。

事務局

他の施設をみると、4人、8人ほどでの利用のようだ。

会長

コテージは要望する。数は今後決めるということにする。スキー場については、小規模のスキー場機能を維持するという程度でどうか。夏冬問わず、今のナイター施設はそのまま設置しておいてほしい。

委員

先ほど言われたが、グリーンシーズンでしっかり営業出来て、採算が合った時、スキー場にリフトをつけて再開もあり得ることを見越して、という進め方でよいのではないか。前向きな考え方が必要。

会長

そう。今のリフトは4～5年が耐用年数だから。

委員

耐用年数とは一体何か。柱から全部取り替えるのか。

事務局

ワイヤーやイスです。

委員

リフトは撤去せず、いずれ復活出来る時がきたら使うのでは駄目か。

事務局

支柱自体は50年の耐用年数だが、ただ、何年かに1回は塗装し、適正に整備すればの場合だ。乗り口も耐用年数が50年だが、機材、モーター、ワイヤー、グリップもばらばらに交換時期がきて、大きな経費、2,000～3,000万円かかる。

事務局

経営分析調査によると、平成3年に取得したものを平成32年に更新するのに6,700万円かかる。

委員

まだ7～8年ある。

会長

将来の再開を考えて、まず危険性のあるものを置いておくのは開発の障害になるので、外せばどうか。勢いがつけばまた新しく付けばどうか。

委員

ちなみに作ればいくらかかるか。

事務局

1億4,000～5,000万円ほどだろうか。その時はナイターも付けていただろうか。1億円ちょっとだと思う。斜面の支柱を撤去する方が費用はかかる。とりあえず邪魔なのはグラウンド側、乗り場にあるもの。斜面に建っているものはあまり影響しないと思う。侵食などの心配はあるが、全ての支柱をすぐに撤去にはならないと思う。

会長

文化会館や図書館は採算抜きで建設された。スキー場は合併しなければ残ったかもしれない。今、市の財政は難しい状態なので無駄をはぶこうとする。残念だ。今までの話を事務局でまとめて提出してほしい。行政推進員の皆さんにもお見せしたら、良い意見が出るかもしれない。

委員

それは、そこまで話がさかのぼれるわけでもない。希望のもてる我々の意見を出すという考えでよいのではないか。私も1月に他の人から意見をいただいたが、彼らも「存続しない」の決定を覆すために言うのではない。圧雪車もそうだ。現実的に考えればリフトのない所では、スキー場は自然に消滅する。耐用年数の7年ならリフトの延長は可能かもしれない。発展的な話なら、市は受け入れてくれると思う。スキー場はOKでリフトは駄目ということはないと思う。

会長

スキー場は廃止しない、リフトは廃止ということで。今、意見を統一しないと閑乗寺をよみがえらせるのが遅れる。合併特例債が5カ年延長になった今だからこそ、話が実現する。

委員

指定管理料1,200万円だが、今1,000万円にして200万円を浮かしてリフトに充てて、プラスマイナス0円にできないか。井波地域審議会でお金についてそこまで言えるのか。

会長

私も閑乗寺へ行ったが、人が20～30人いた。リフトの採算は合わないと思う。次の井波地域審議会の日程だが、3月21日(木)午前9時30分から開催とする。次回は今までの話を集約したものを再度検討したい。以上で会議を終わります。ありがとうございました。